
第2回 Cell Based Assay Workshop

ー染色体工学技術を用いた創薬アプローチー

ディ・スリー研究所主催

日時：2021年9月24日（金）13:00～17:00

参加形式：CISCO WEB リモート

会費：無料（約60名）事前登録者

申込先：〒305-0036 茨城県つくば市西郷 25-4 TEL0298-52-3949/FAX 029-845-3157

ディ・スリー研究所 堀江 透 HTML:<http://www.d3researchlabo.com>（参加登録先）

プログラム

- 13:00～13:45 「染色体工学技術を用いた創薬アプローチ」
押村 光雄先生
鳥取大学名誉教授、TC（株）CEO
- 13:45～14:15 「人工染色体技術によるヒト化モデル動物・多機能細胞の作製と創薬研究への応用」
香月 康宏先生
鳥取大学染色体工学研究センター准教授
- 14:15～15:00 「染色体工学技術と生物発光レポーター技術の融合によるセルベースアッセイ系の開発」
中島 芳浩先生 先生
産業技術総合研究所健康工学研究部門
- 15:00～15:30 「TC-HepG2 細胞を用いた反応性代謝物の毒性評価と創薬への応用」
大江 知之先生
慶応義塾大学薬学部分子創成科学講座准教授
- 15:30～15:45 「TC-HepG2 細胞の薬物代謝における酸素消費」
酒井 康行 先生
東京大学大学院工学研究科教授
- 15:45～16:15 「4CYP 導入 HepG2 細胞 (TC-HepG2) を使用した未変化体及び代謝物によるミトコンドリア毒性評価」
伊藤 晃成 先生
千葉大学大学院薬学研究院教授
- 16:15～16:45 「薬物動態関連ヒト化動物を用いた薬物代謝・薬物動態研究」
小林 カオル先生
明治薬科大学教授
- 16:45～17:00 「TC 株式会社の企業紹介」
平松 敬先生